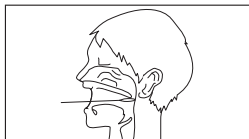
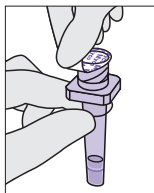


■ 検体採取 咽頭ぬぐい液

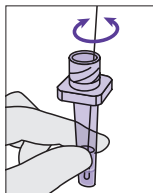


キット付属のスワブで
検体を採取します。

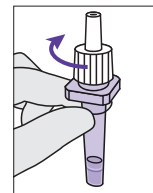
■ 試料調製



検体抽出液の容
器のアルミシ
ールを液が飛び散
らないように剥
がします。

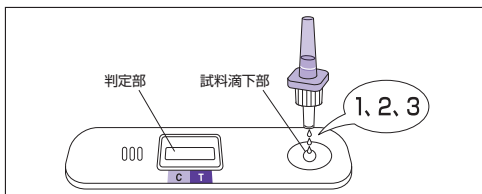


検体採取後のスワブを検体抽出液に浸し、
容器の外側からスワブの頭部を軽くつまみ
5回以上左右に回転させ、上下に動かし攪
拌します。抽出後、容器の外側からスワブ
の頭部をつまみ、試料を絞り出すようにス
ワブを引き抜き、試料とします。



検体抽出液の容
器の上端に付属
のノズルを被せ
てしっかりと閉
めます。

■ 試料滴下



検体抽出液の容器の中ほどをつまみ、
テストプレートの試料滴下部に
試料3滴を滴下します。

注意
テストプレートは開封後
すぐに使用してください。

注意事項

- ① 滴下するとき、検体抽出液の容器は垂直に保持し、ノズルの先端が試料滴下部に触れないよう注意してください。
- ② テストラインは、ラインの濃淡に関わらず、目視で確認できれば陽性です。
- ③ ラインは色分けにより区分されている各判定部内であれば、その位置にかかわらず有効です。
- ④ 抗原量が非常に多いと考えられる場合には、新しい検体抽出液1本に対して試料を3滴滴下し、希釈調製したものを試料としてください。
- ⑤ 滴下量が多すぎた場合には、本品の測定原理から白金-金コロイド標識抗体が希釈されることにより反応が遅延し、判定時間内に判定部 [C] 及び/又は [T] にラインが認められない、又はラインが薄くなる場合があります (偽陰性)。

■ 判定

